

1歳6か月健康診査の実状に関する調査成績

宮下 晴夫, 山田 隆義*

要約： 杉並区で、昭和62年に実施された1歳6か月健康診査のアンケート100例を調査し、その回答の特徴から問題点を考えた。また委託健診における健康診査実施機関の標榜科目と受診者数との関係を調査した。

見出し語： 1歳6か月健康診査、健診用アンケート、委託健診

研究方法

杉並区の人口は約54万人、そのうち1歳6か月児健康審査の対象者は約4800名である。杉並区の健診方法は、内科健診は医師会委託方式であり、歯科健診、心理相談および保健婦による保健指導が、3保健所、2保健相談所において集団方式で行われている。委託健診は、健診を申し出て登録を受けた医療機関が行っている。

本研究では、昭和62年1月から12月の間に医療機関を訪れた受診者について検討を行った。

(1) 1歳6か月児健診アンケート調査の検討

受診する時に提出されたアンケートから無作為に100例を抽出して検討した。

(2) 実施医療機関と標榜科目の検討

受診者が訪れた医療機関を標榜科別に分類し集計した。標榜科目については、それぞれ最初に標榜している科目から選んだ。

研究結果

(1) アンケート調査の検討

杉並区の1歳6か月健診用アンケートは

* 杉並区小児科医会

付表に示すように問が23ある。回答を検討した結果注目すべき点は、以下のごとくであった。

問14：おしっこ、うんちのしつけを始めていますか、の項で、100名中51名（51%、以下%のみ記載）がいいえと答えていた。

問15：歯みがきの練習の項では、95%がはいと答えていた。

問18：食事とおやつの項では、全例が食事の時間が決まっており、食事回数は3回が99%、2回が1%であった。おやつの回数は、1回31%、2回49%、3回3%、決めていないが17%であった。

問19：牛乳の項では、61%が1日200mlから400ml飲んでいると答え、一方6%は全く与えないと答えていた。

問23、24：心配なこと、相談したいことの項では、湿疹がきやすい 13%、下痢しやすい 6%、かぜをひきやすい 5%、ひきつけがある 2%、物を投げる、寝つきが悪い、歯みがきをいやがる、出べそ、体が小さい、便秘、停留睾丸、それぞれ1%ずつであった。

(2) 実施医療機関と標榜科目

登録された医療機関は194で、そのうち受診者が訪れた機関は162であり、1年間の総受診者数は3692名であった。

標榜科目別機関数、受診者数等は次の表のごとくであった。

主たる 標榜科	機関数	受診者数	1機関当り 受診者数
------------	-----	------	---------------

小児科	46	1769	38
内科	95	1317	14
産婦人科	11	93	8
外科	4	50	13
耳鼻科	1	4	4
病院	5	459	92

註：病院は小児科を設置した病院、
病院以外は診療所

考察

アンケート調査で目立ったのは、トイレトレーニングを開始していないが51%と過半数いたことであった。1歳6か月児の質問としては早すぎるのであろうか。昔の母親はおむつの洗濯から解放されたいために、おしっこ、うんちのしつけを懸命にしたが、現在では紙おむつの普及などで洗濯から解放されたことも一因をなしているであろうか。検討を要する問題である。

一方食事の回数では99%が3回食で、決まった時間にとられていた。身体的な心配では、湿疹を訴える例が目立った。

健診医療機関では、小児科を主とする医療機関（診療所、病院）の受診者が半数以上を占めたが、産婦人科、外科、耳鼻科を受診した例もあった。母親教育の必要性を考えさせられるとともに、委託健診の持つ問題点として今後の対策が必要であろう。



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約:杉並区で、昭和62年に実施された1歳6か月健康診査のアンケート100例を調査し、その回答の特徴から問題点を考えた。また委託健診における健康診査実施機関の標榜科目と受診者数との関係を調査した。